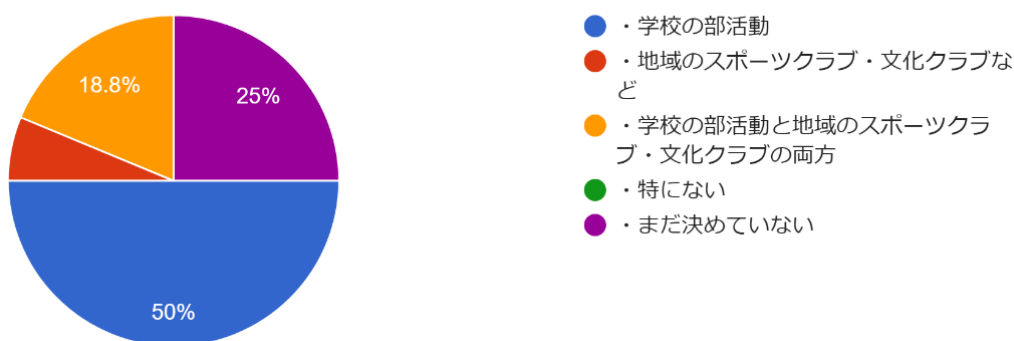


部活動の地域移行に関するアンケート調査

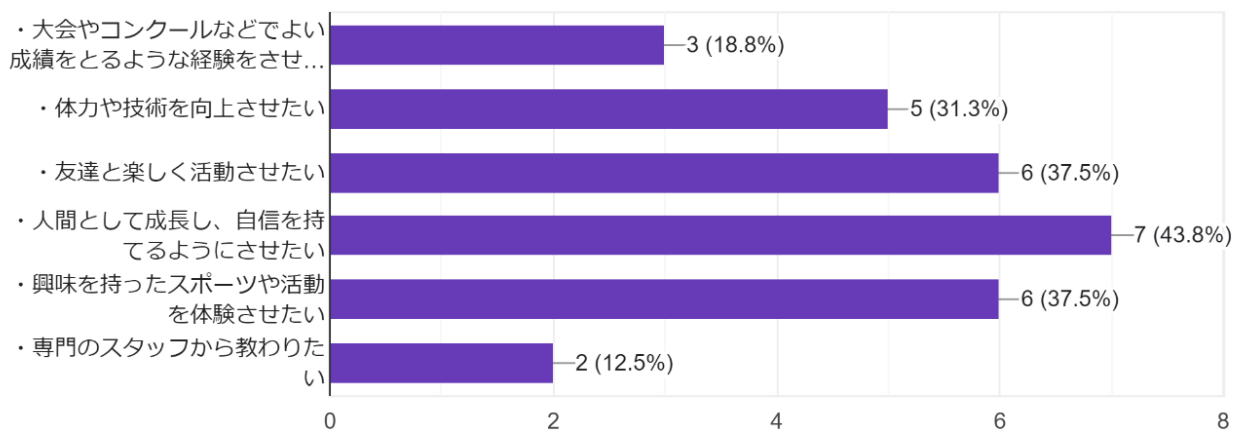
- 1 実施期間 令和6年1月15日～1月31日
- 2 調査対象 小学生保護者
- 3 対象者数 337名
- 4 回答者数 16名
- 5 回答率 4.74%

Q1. お子さんが中学校に入った際に、放課後に参加させたいスポーツ・文化活動はありますか。
16件の回答



Q2. 学校の部活動、または地域のスポーツクラブ・文化クラブに参加させたい場合、参加させる目的として、あなたの考えに近いものはどれですか。2つまで選んでください。

16件の回答



保護者が子どもを放課後の活動へ参加させる目的として、小学校高学年保護者・中学校保護者ともに、「人間として成長し、自信を持てるようにさせたい」が第1位、「友達と楽しく活動させたい」が第2位と、同じ傾向の回答となりました。

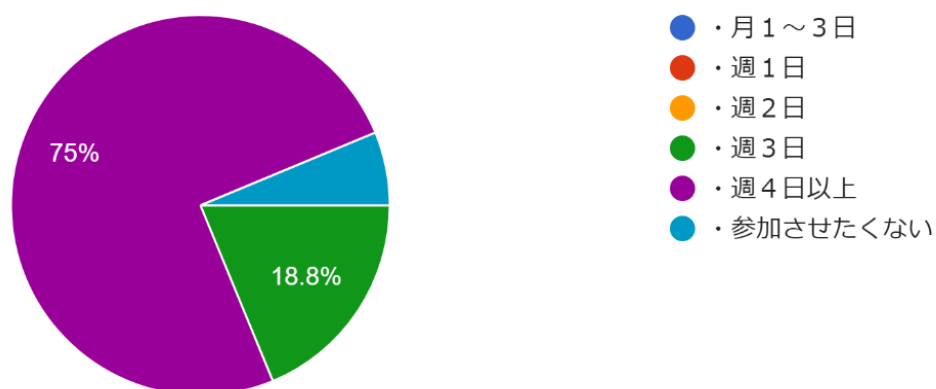
Q3. 中学校に入った際に、放課後に参加させたい種目・活動はどのようなものですか。

(例：サッカー、水泳、書道)

- ・吹奏楽部 ・サッカー ・バレーボール ・バドミントン ・テニス
- ・バスケットボール ・野球 ・ゲートボール ・陸上
- ・親としては、本人の技量に合う体力がつくもの

Q4. どれくらいの日数、放課後の活動に参加させたいですか。あなたの考えに近いものを選んでください

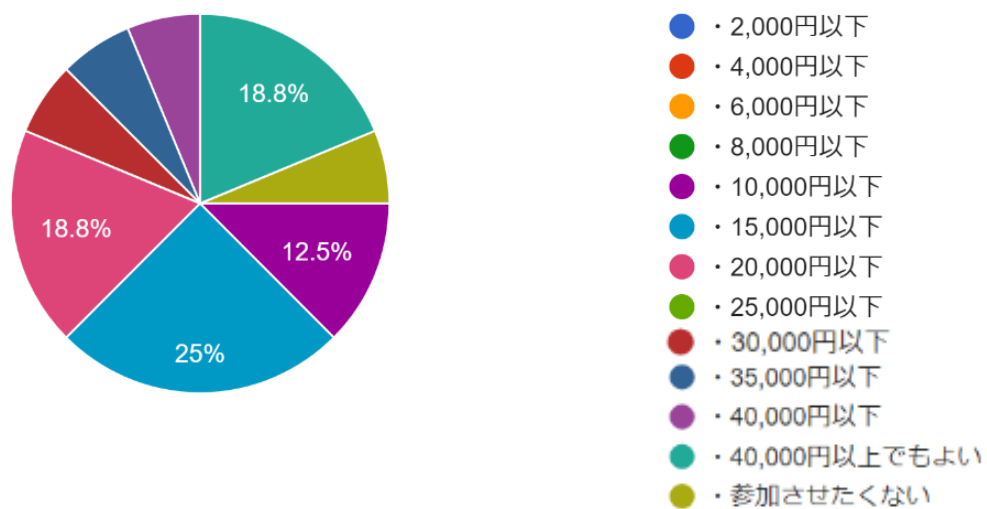
16 件の回答



放課後の活動日数について、週 4 日以上が 75%、週 3 日が 18.8%であり、多くの小学校高学年保護者が、放課後の活動が一定量あることを望んでいます。

Q 5. 学校単位の部活が、地域単位の活動に移行した場合、許容できる費用感（年額）をお知らせください。

16 件の回答



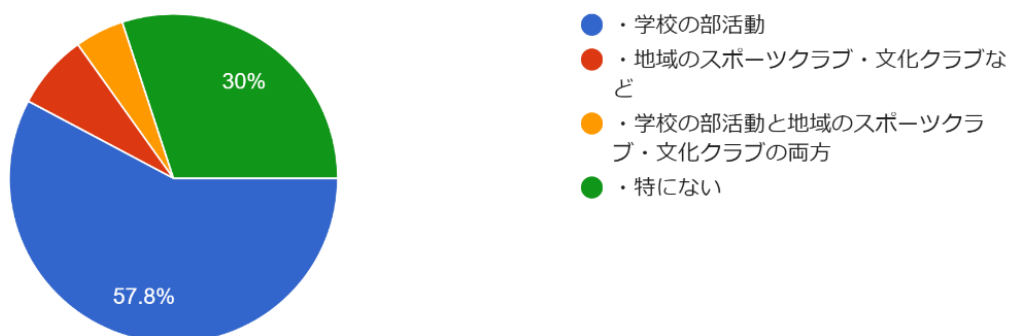
上位項目

- ・ 15,000 円以下：25%
- ・ 20,000 円以下：18.8%
- ・ 40,000 円以上でもよい：18.8%

部活動の地域移行に関するアンケート調査

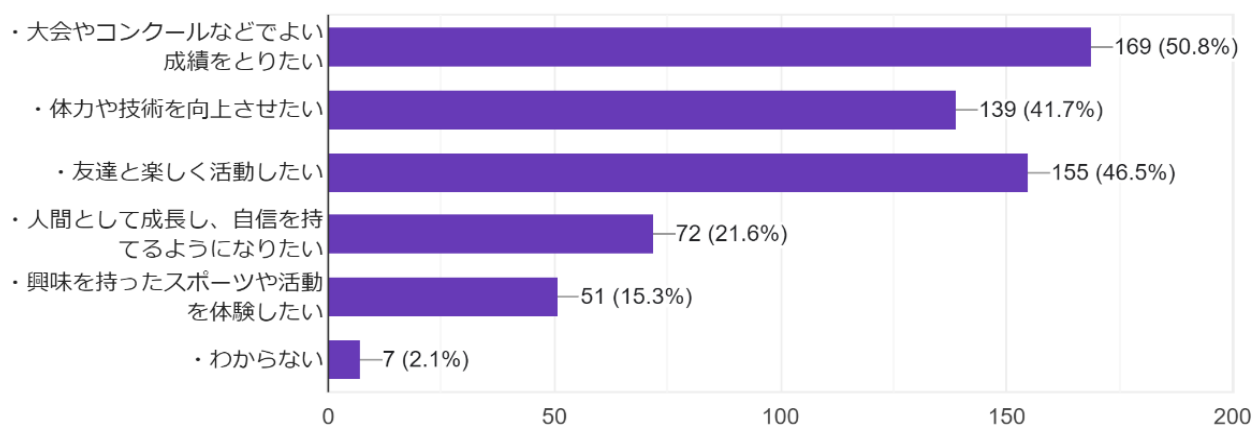
- 1 実施期間 令和6年1月15日～1月31日
- 2 調査対象 中学1～3年生
- 3 対象者数 550名
- 4 回答者数 476名
- 5 回答率 86.54%

Q1. 現在、放課後に参加しているスポーツ・文化活動について、次の中から選んでください。
476件の回答



Q2. 学校の部活動、または地域のスポーツクラブ・文化クラブに参加している場合、参加する目的として、あなたの考えに近いものはどれですか。2つまで、選んでください。

333件の回答

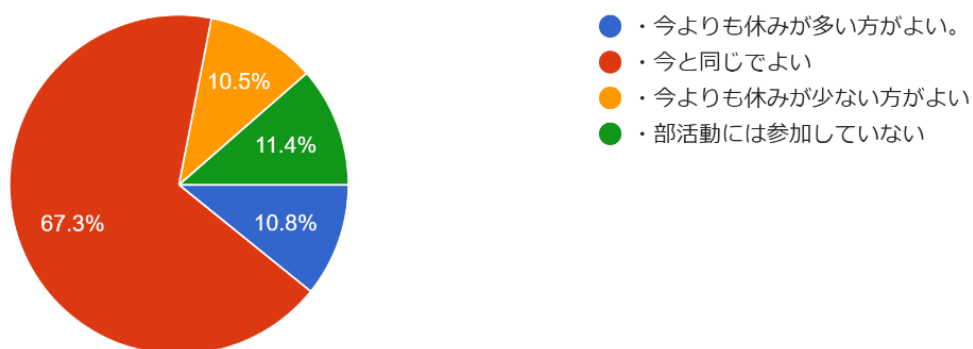


Q3. 現在、放課後に参加している活動はどのようなものですか。(333 件の回答)

- ・バドミントン ・陸上 ・野球 ・吹奏楽 ・サッカー
- ・創作 ・バレーボール ・バスケットボール ・ソフトテニス

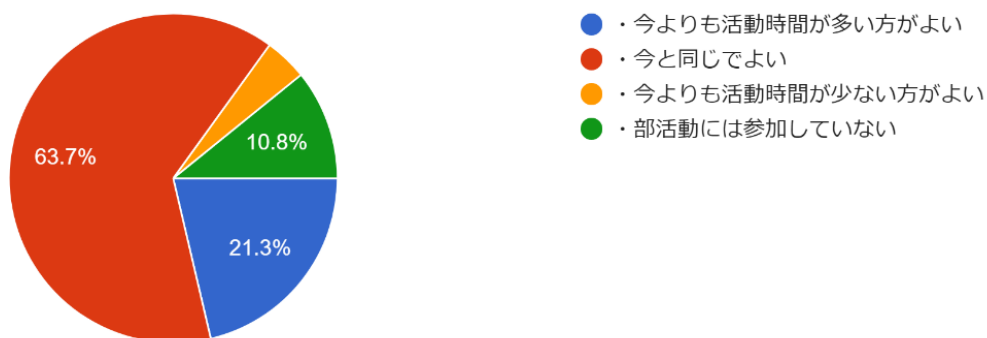
Q4. 学校の部活動に参加している人に聞きます。部活動の休養日（部活動が休みの日）について、あなたの考えに近いものはどれですか。1 つ選んでください。

333 件の回答



Q5. 学校の部活動に参加している人に聞きます。部活動の活動時間について、あなたの考えに近いものはどれですか。1 つ選んでください。

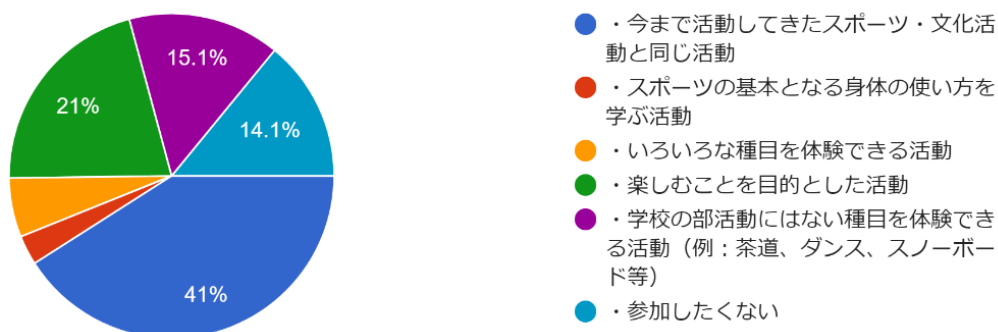
333 件の回答



部活動の休養日、活動時間について、「今と同じでよい」と答える生徒が 67.3%・63.7%と最も多く、7 割弱の生徒が今の部活の活用量を適していると考えていることがわかります。

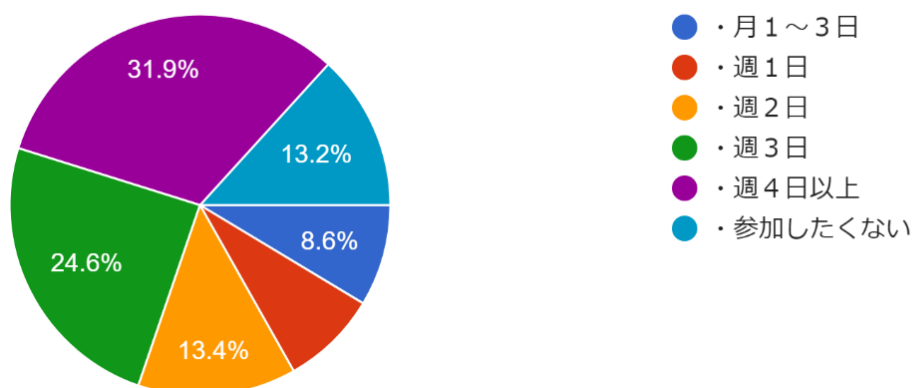
Q6. 学校単位の部活が、地域単位の活動に移行した場合、どのような活動があったら参加したいですか。

476 件の回答



Q7. 学校単位の部活が、地域単位の活動に移行した場合、どれくらいの日数参加したいですか。あなたの考えに近いものを選んでください。

476 件の回答

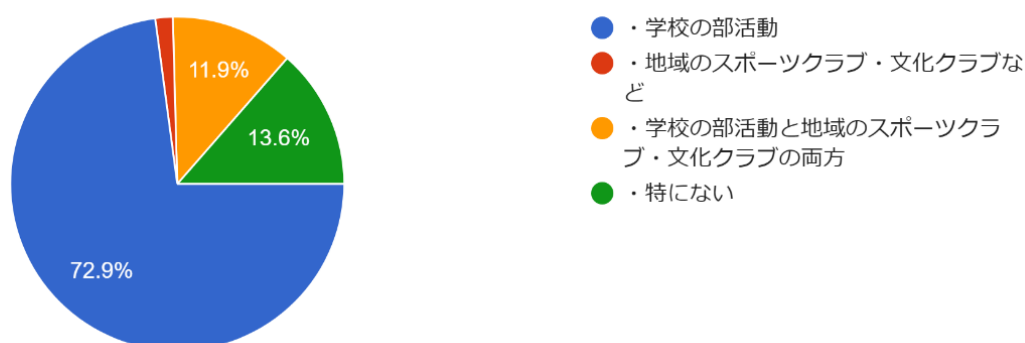


部活動の地域移行後の活動や活動量について、今までと同じ活動や活動量をイメージしている生徒が3～4割と最も多く、今の部活動をベースに考えていることがうかがえますが、反面、部活動にはないいろいろな種目の体験や、月1～3日の活動への参加など、多様な考え方が一定数あることがわかります。また、「参加したくない」生徒が13～14%いることがわかります。

部活動の地域移行に関するアンケート調査

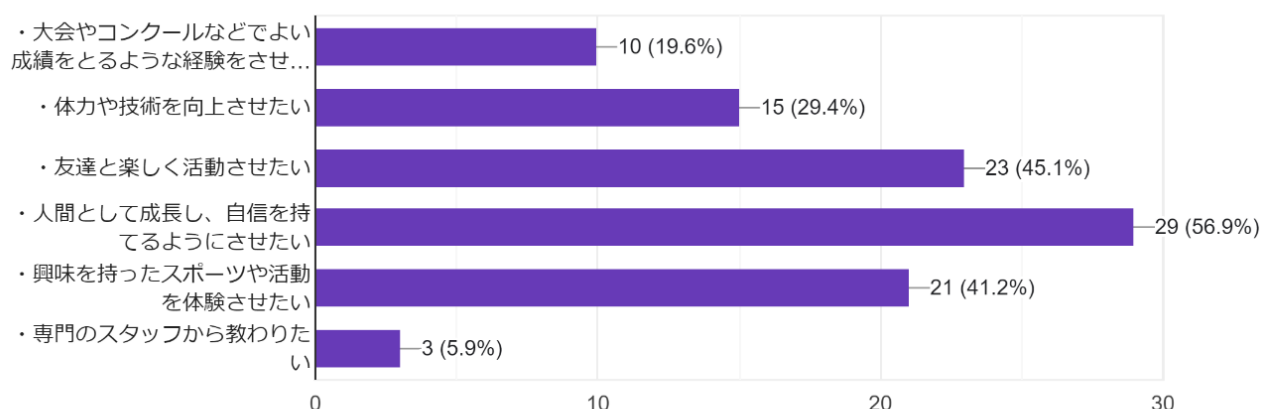
- 1 実施期間 令和6年1月15日～1月31日
- 2 調査対象 中学生の保護者
- 3 対象者数 550名
- 4 回答者数 59名
- 5 回答率 10.72%

Q1. 現在、お子さんが放課後に参加しているスポーツ・文化活動について、次の中から選んでください。
59件の回答



Q2. 学校の部活動、または地域のスポーツクラブ・文化クラブに参加させている場合、参加させる目的として、あなたの考えに近いものはどれですか。2つまで、選んでください。

51件の回答



保護者が子どもを放課後の活動へ参加させる目的として、小学校高学年保護者・中学校保護者ともに、「人間として成長し、自信を持てるようにさせたい」が第1位、「友達と楽しく活動させたい」が第2位と、同じ傾向の回答となりました。

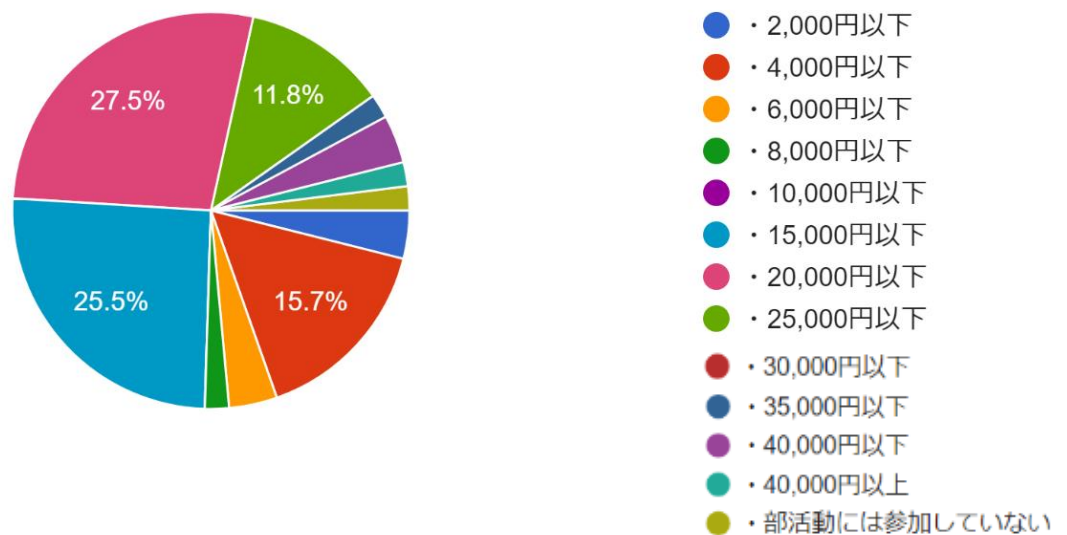
Q3. 現在、放課後に参加させている活動はどのようなものですか。(例：サッカー、水泳、書道)

51 件の回答

- ・野球 ・美術系や工作等作り物をする活動 ・ピアノ ・吹奏楽 ・創作部
- ・サッカー ・バスケットボール ・空手 ・陸上競技 ・ソフトテニス
- ・バレーボール ・ソロバン ・バドミントン ・書道

Q4. 現在、学校の部活動に参加している方にお聞きます。年間に参加している部活動の「部費」の年額はおいくらですか。当てはまる額を選択してください。

51 件の回答

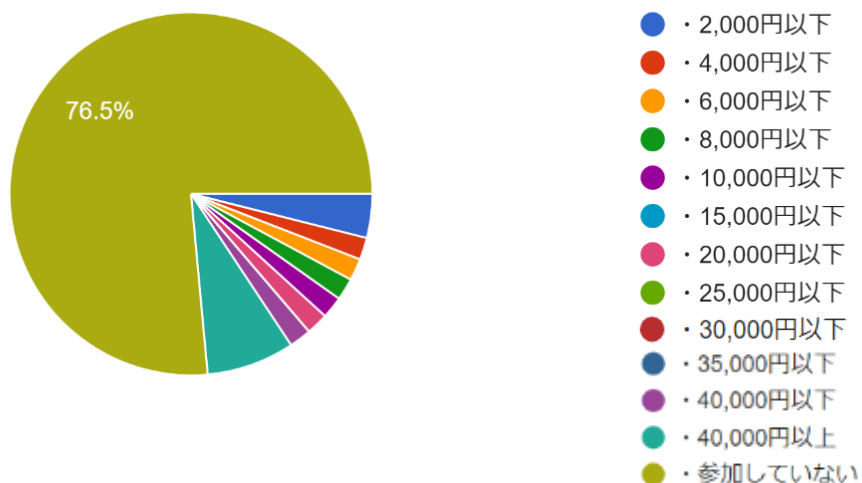


上位項目

- ・ 20,000 円以下：27.5%
- ・ 15,000 円以下：25.5%
- ・ 25,000 円以下：11.8%

Q5. 現在、地域のスポーツクラブ・文化クラブに参加している方にお聞きします。年間に参加している活動の「月謝」の年額はおいくらですか。「負担金」「維持費」など名目がちがっても、定期的にかかる金額の年間の総額をお知らせください。（ユニフォーム購入など一時的にかかる費目を除きます）

12 件の回答

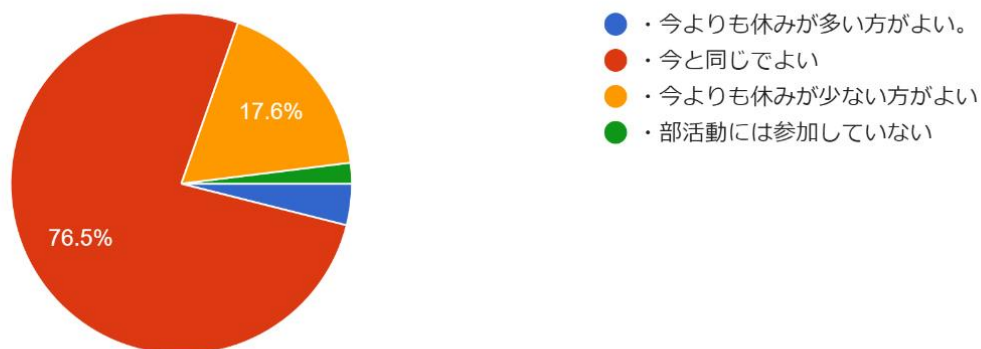


上位項目

- ・ 40,000 円以上：41.6%
- ・ 2,000 円以下：16%

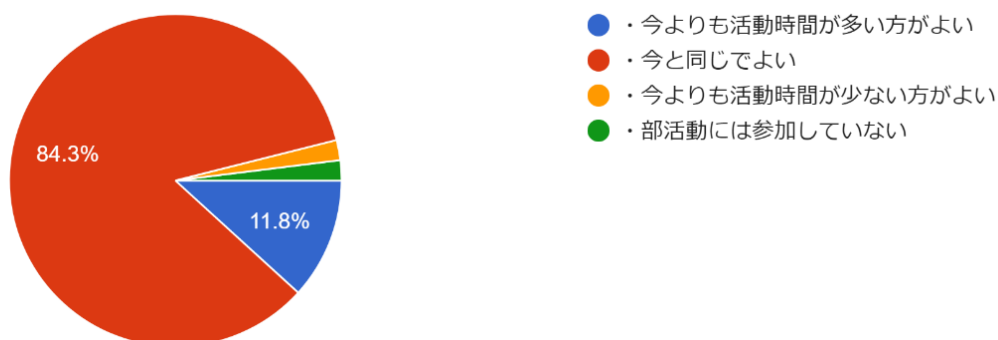
Q6. 学校の部活動に参加させている方に聞きます。部活動の休養日（部活動が休みの日）について、あなたの考えに近いものはどれですか。1 つ選んでください。

51 件の回答



Q7. 学校の部活動に参加させている人に聞きます。部活動の活動時間について、あなたの考えに近いものはどれですか。1つ選んでください。

51 件の回答



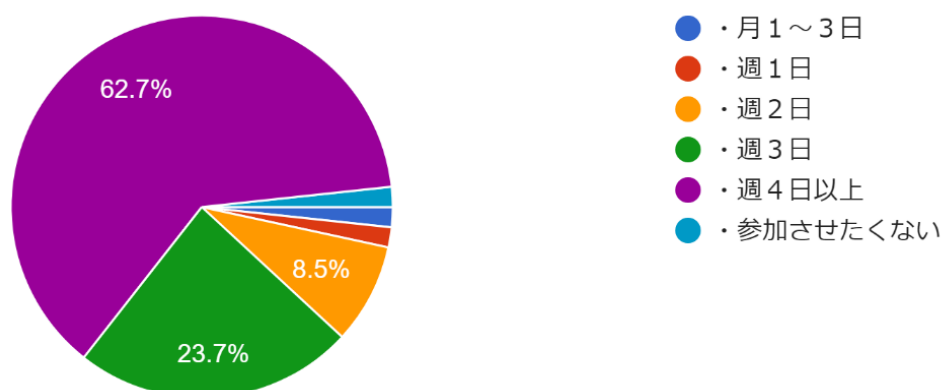
Q8. 学校単位の部活が、地域単位の活動に移行した場合、どのような活動があったら参加させたいですか。

59 件の回答



Q9. 学校単位の部活が、地域単位の活動に移行した場合、どの程度の日数で参加させたいですか。
あなたの考えに近いものを選んでください。

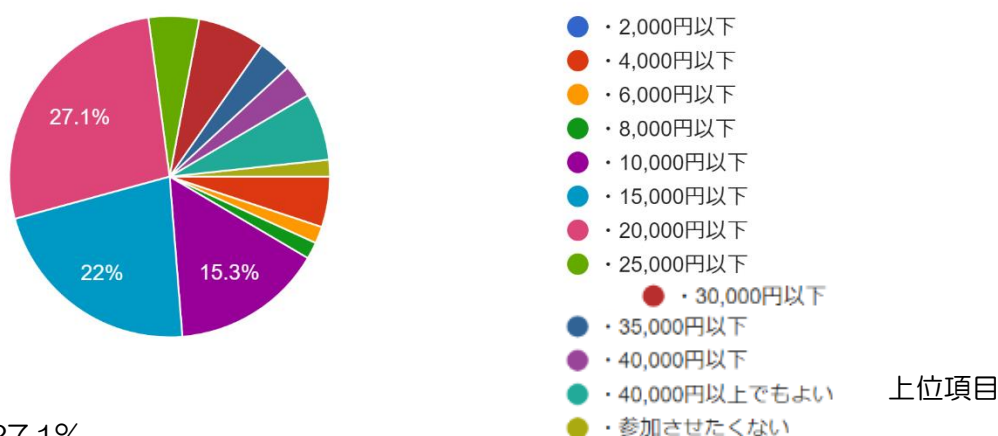
59 件の回答



部活動の休養日・活動時間について、今と同じでよいと考えている保護者が最も多いことがわかります。部活動が地域移行した際にも、現在の部活動と同じ活動・日数をイメージしている保護者が最も多いことがわかります。

Q10. 学校単位の部活が、地域単位の活動に移行した場合、許容できる費用感（年額）をお知らせください。

59 件の回答



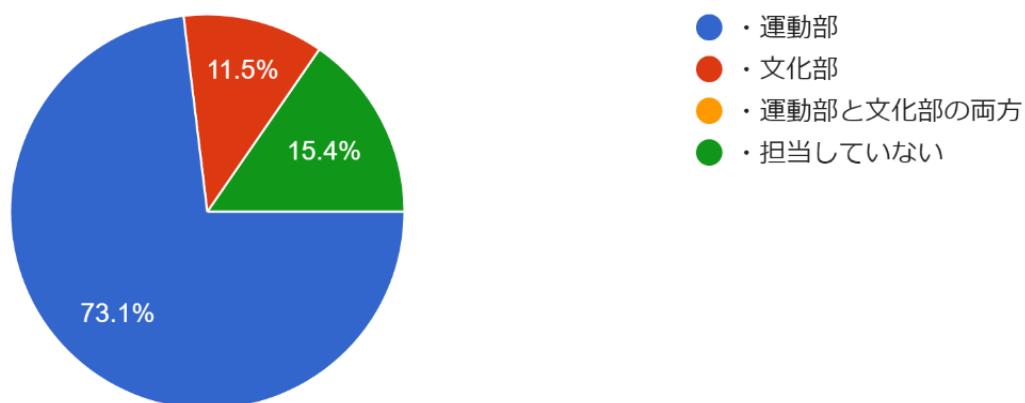
- ・20,000 円以下：27.1%
- ・15,000 円以下：22%
- ・10,000 円以下：15.3%

部活動の地域移行に関するアンケート調査

- 1 実施期間 令和6年1月15日～1月31日
- 2 調査対象 中学校教職員
- 3 対象者数 60名
- 4 回答者数 52名
- 5 回答率 86.66%

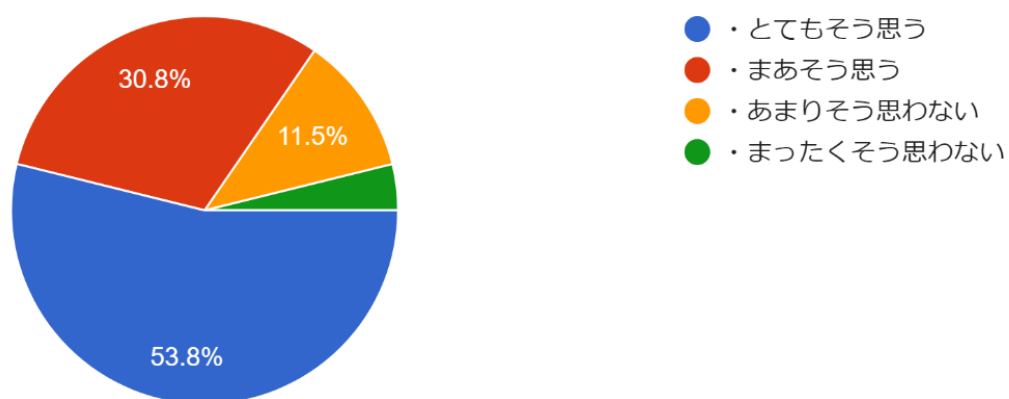
Q1. あなたが現在、担当（顧問）している部活動は何ですか。

52件の回答



Q3. 部活動について、教員の働き方改革を進める上での問題（例：長時間労働の要因になっている等）が指摘されていますが、あなたは現在の部活動の在り方を変える必要があると思いますか。

52件の回答



Q5. 部活動が地域移行された場合、あなたの指導へのかかわりについて、どのように考えますか。
現在のお考えを教えてください。

52 件の回答

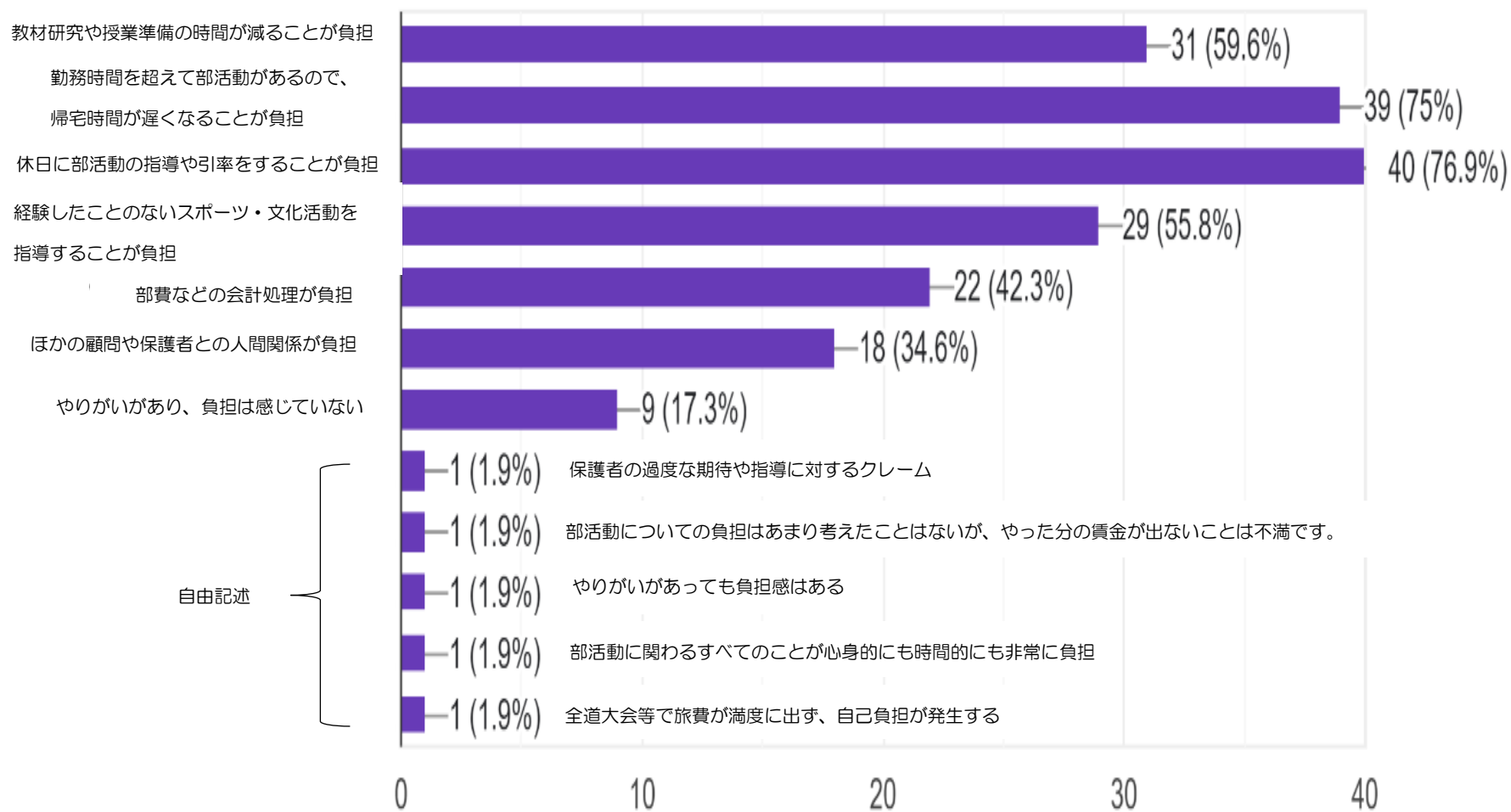


Q3 では、84.6%の教職員が、働き方改革の面からなんらか部活動の在り方を変える必要があると考えています。Q2 では、負担感について3つ以上該当すると回答した教職員は65.3%、4つ以上該当すると回答した教職員は25.4%でした。

Q2 では、部活動の指導にやりがいがあり負担感を感じていない教職員が17.3%、Q5 では、自分が指導に関わりたいと回答した教職員が15.4%でした。

Q2. 現在や過去の部活動指導経験を通じてお聞きします。部活動の指導の負担について、あなたの考えに近いものを選んでください。

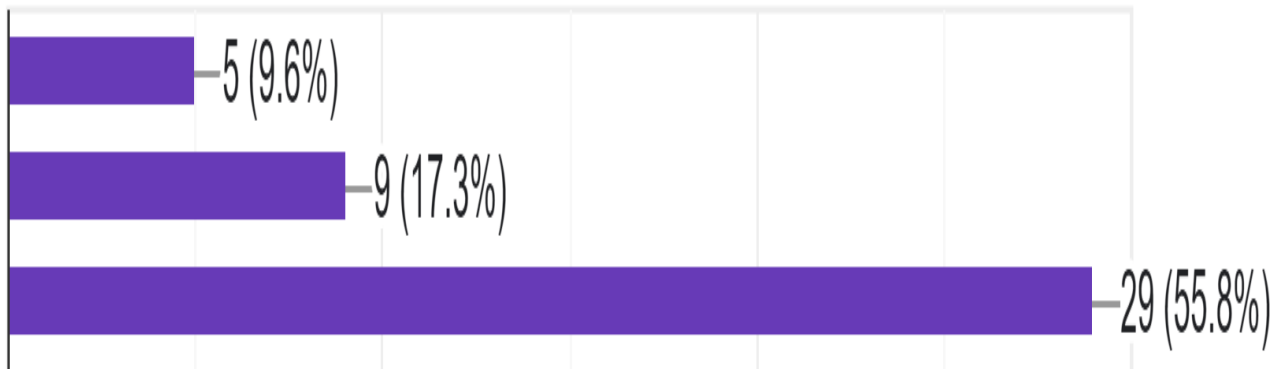
(複数回答可) (52件の回答)



Q4. 部活動の地域移行についてお聞きします。部活動の地域移行について、あなたの意見に近いものはどれですか。（複数回答可）

（52 件の回答）

生徒のスポーツ・文化活動は今後も学校の部活動として提供していくべきである。



まずは、休日の部活動から地域移行に取り組んでいくべきである。

休日の部活動だけでなく、平日も同時に地域へ移行していくべきである。

【自由記述】

- 今の流れとしては、地域移行は必要と考えるが、生徒の金銭的負担はあまり大きくならない方がいいと思う。また、平日の3時から指導にこれる地域の方などほとんどいないと考える。教職員が兼職兼業の許可を得ながら対応することが第一で、足りない場面を地域にお願いする事が望ましいと考える。
- 中途半端な移行には賛成しかねます。町単位での実施ではなく、大会運営や参加資格、引率者、その他全道・全国における諸々の条件等の整備がなされないと不都合や却って面倒が増えるように思います。
- 手当も出ず、勤務時間を日常的に超える原因になっている平日の部活動に対する取り組みを優先して行うべきである。冬休みも体育館割が平気で勤務時間外に設定されている状況は異常である。先生方の意識改革も必要だが、勤務時間に対して厳密に守っていく、時間外に行われる活動を全てなくす必要があると思う。
- 負担を考えると全て地域移行していくべきかと考えますが、生徒指導や生徒の中学校生活の充実を考えると学校が部活動を提供すべきだと考えます。
- 教員と地域が上手く融和して行っていないといけないと思います。

- 部活のままか、地域移行は中途半端が一番だめだと思う。
- 地域移行への取り組みについては概ね賛成しているが、地域人材を見つけられるのか、地域の指導者の待遇はどうなるかなどが決まっていないと進まないと思います。
- まずは休日から地域移行に取り組むしかないと思うが、練習の仕方が平日と休日で変わってしまうと子どもが混乱するので、平日休日共に移行することが望ましいと思う。
- 情勢を鑑み、地域人材の協力を得ることは大切だと思います。その中で、これまで学校部活動で指導してきた「挨拶、礼儀、謙虚さ、感謝の気持、克己心など」の部活動を通じて学んでいってほしいことを、学校教員と地域の方と連携して、子どもたちに伝え続けていきたいと考えます。
- 良し悪しがあり、どちらとも言えない。顧問にとって負担は大きいですが、生徒指導の側面も多いと感じる。